

IPW

03500.017821



PATENT APPLICATION

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:)
KENJI AIYAMA : Examiner: Not Yet Assigned
Application No.: 10/736,530) Group Art Unit: 2622
Filed: December 17, 2003)
For: IMAGE PROCESSING)
APPARATUS, METHOD, AND :
CONTROL PROGRAM) June 11, 2004

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENTS

Sir:

In support of Applicant's claim for priority under 35 U.S.C. § 119, enclosed are certified copies of the following Japanese applications:

2002-370428, filed December 20, 2002; and

2003-410560, filed December 9, 2003.

Applicant's undersigned attorney may be reached in our New York office by telephone at (212) 218-2100. All correspondence should continue to be directed to our address given below.

Respectfully submitted,

Leonard D. Diana
Attorney for Applicant

Registration No. 29,286

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO
30 Rockefeller Plaza
New York, New York 10112-3800
Facsimile: (212) 218-2200

NY_MAIN 432788v1

CF017821

101736530 US
G AU 2622

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2002年12月20日
Date of Application:

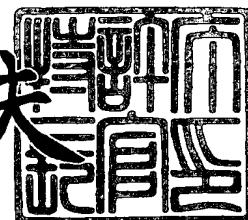
出願番号 特願2002-370428
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP2002-370428]

出願人 キヤノン株式会社
Applicant(s):

2004年 1月14日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3110952



【書類名】 特許願

【整理番号】 250529

【提出日】 平成14年12月20日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 3/12

【発明の名称】 画像処理装置

【請求項の数】 1

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内

【氏名】 相山 健司

【特許出願人】

【識別番号】 000001007

【氏名又は名称】 キヤノン株式会社

【代表者】 御手洗 富士夫

【代理人】

【識別番号】 100071711

【弁理士】

【氏名又は名称】 小林 将高

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006507

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9703712

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像処理装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 データ処理装置から所定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブを受信し、該受信した印刷ジョブを処理する画像処理装置であって、

前記所定の印刷サービス要求毎に設定されたグループ情報を記憶する記憶手段と、

受信される特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブが前記記憶手段に記憶されたグループ情報に対応しているか否かを判別する判別手段と、

前記判別手段により未対応であると判別した場合に、該未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報を設定する設定手段と、

前記グループ情報あるいは前記特定グループ情報に基づいて、所定の印刷サービス要求あるいは特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブの実行の可否を制御するジョブ制御手段と、

を有することを特徴とする画像処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、データ処理装置から所定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブを受信し、該受信した印刷ジョブを処理する画像処理装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、ネットワークが普及し、複写機やプリンタやスキャナとプリンタとが一体となって画像処理を行う複合画像処理装置等を含む画像形成装置をネットワークに接続して複数のユーザが共有して利用するという形態が一般的になっている。

【0003】

そして、企業などにおいては利用する部門毎に画像形成装置の利用状況を管理したり、特定のユーザのみに印刷を許可したりする必要がある場合があり、この

ような要求に対応するために、部門管理機能を有する画像形成装置が提案されている。

【0004】

例えば特開平09-258932号公報に示される提案によれば、ネットワーク印刷装置において、印刷ジョブを発行したユーザを特定し、印刷が許可されたユーザが発行した印刷ジョブのみを印刷するという管理機能が提供可能である。

【0005】

また、特開平10-207661号公報に示される提案によれば、ユーザが印刷を指示するプリンタドライバにユーザ名やグループ名を設定する手段を設け、該設定されたユーザ名やグループ名に応じて印刷の許可／不許可や印刷枚数の制限をするという機能が提供可能である。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来の画像形成装置において管理機能を利用する場合、ユーザ名またはグループ名のみでしか印刷の制限をすることが出来無いため、ユーザ名やグループ名を設定して印刷することが困難な場合には、印刷をすることが出来無いという問題点があった。

【0007】

本発明は、上記の問題点を解決するためになされたもので、本発明の目的は、データ処理装置から所定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブを受信し、該受信した印刷ジョブを処理する画像処理装置において、受信される特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブが前記記憶手段に記憶されたグループ情報に未対応である場合に、該未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報を設定し、該特定グループ情報に基づいて、特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブ実行可能とするようにジョブ処理を制御することにより、グループ情報が未対応の印刷ジョブを受信した場合でも、特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブに特定グループ情報を適応させて印刷処理を実行させてジョブ処理状態を管理することができる利便性に優れた印刷ジョブ処理環境を自在に構築することができる画像処理装置を提供することである。

【0008】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成する本発明のデータ処理装置は以下の示す構成を備える。

【0009】

本発明は、データ処理装置から所定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブを受信し、該受信した印刷ジョブを処理する画像処理装置であって、前記所定の印刷サービス要求毎に設定されたグループ情報を記憶する記憶手段（例えば図2に示すRAM7）と、受信される特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブが前記記憶手段に記憶されたグループ情報に対応しているか否かを判別する判別手段（例えば図2に示すCPU6が実行する図3のステップ（102））と、前記判別手段により未対応であると判別した場合に、該未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報を設定する設定手段（例えば図2に示すCPU6が実行する図3に示すステップ（103））と、前記グループ情報あるいは前記特定グループ情報に基づいて、所定の印刷サービス要求あるいは特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブの実行の可否を制御するジョブ制御手段（例えば図2に示すCPU6が実行する図3に示すステップ（104））とを有することを特徴とする。

【0010】**【発明の実施の形態】****〔第1実施形態〕**

図1は、本発明の第1実施形態を示す画像形成装置を適用可能なネットワーク印刷システムの構成例を示す図であり、詳細は後述するPrintMe（Eletronics For Imaging, Inc. の商標）印刷サービスを利用する印刷機能と、一般的な印刷サービスを利用する印刷機能との両方に対応可能な印刷システムである。

【0011】

なお、本実施形態において、特定の印刷サービスとして、PrintMeについて説明する。

【0012】

PrintMeは、インターネットに接続されたPrintMeサーバを介してPrintMeクライアントから指定したプリンタに印刷データを送信し、印刷するという印刷サービスである。

【0013】

また、特定されるための一意のidが与えられており、PrintMeサーバはインターネットを介してPCなどのPrintMeクライアントから印刷先のプリンタを指定するプリンタのid番号と共に印刷ジョブを受信すると、それをサーバ内の記憶手段に保持する。

【0014】

PrintMe印刷サービスに対応したプリンタは、PrintMeサーバに対して当該プリンタへの印刷ジョブがあるかどうかを定期的に問合せる。PrintMeサーバが問合せを受けると、当該プリンタのid番号への印刷ジョブがある場合にはその印刷ジョブを当該プリンタに対して送信する。

【0015】

そして、当該プリンタは印刷ジョブを受信すると、その印刷ジョブのデータを解釈して印刷を行うというシステムにより遠隔地にあるプリンタに印刷することを可能にするものである。

【0016】

図1において、1はPrintMeサーバで、PrintMeクライアント2からインターネット50を介して印刷先のプリンタのid番号と共に印刷ジョブを受信し、受信したid番号及び印刷ジョブを記憶装置に記憶し、当該id番号のプリンタからインターネット50を介して当該プリンタへの印刷ジョブがあるかどうかの問合せがあった場合には、当該id番号のプリンタ宛の印刷ジョブがあるかどうかを判定し、ある場合にはその印刷ジョブを当該プリンタに対して送信する。

【0017】

2はPrintMeクライアントで、PrintMeサーバ1に対して印刷したいプリンタのid番号と共に印刷ジョブをインターネット50を介して送信する。3はルータで、インターネット50とローカルネットワーク51の間の通

信の仲介を行う。

【0018】

4はプリンタで、PrintMeのid番号を有し、当該id番号のプリンタに対する印刷ジョブがあるかどうかをローカルネットワーク51、ルータ3、インターネット50を介してPrintMeサーバ1に対して問合せ、印刷ジョブがある場合にPrintMeサーバから送信される印刷ジョブを受信し、受信した印刷ジョブに含まれるデータを解釈して印刷する画像データを生成し、用紙上に画像を形成し、またローカルネットワーク51を介して他の装置からlpd印刷サービスによって転送された印刷ジョブも同様に印刷する。

【0019】

5はクライアントPCで、ローカルネットワーク51を介してプリンタ4にlpd印刷サービスを用いて印刷ジョブを送信する。50はインターネットで、PrintMeサーバ1、PrintMeクライアント2及びルータ3などのさまざまな場所にあるネットワークデバイスを論理的に接続し、各ネットワークデバイス間の通信経路となる。51はローカルネットワークで、ルータ3、プリンタ4及びクライアントPC5の間の通信経路である。

【0020】

図2は、図1に示したプリンタ4のデータ処理構成を説明するブロック図であり、図1と同一のものには同一の符号を付してある。

【0021】

図2において、53は通信ユニットで、ローカルネットワーク51を介して外部装置との通信を行う。6はCPUで、プリンタ4全体を制御する制御プログラムを実行する。

【0022】

7は容量を増設可能なRAMで、プログラム実行時に生成されるデータや画像データを保持する。8はROMで、印刷ジョブを処理するための制御プログラムを保持する。9はハードディスクで、印刷ジョブのデータを一時的に記憶する。

【0023】

10はプリンタユニット（プリンタエンジン）で、RAM7上に生成された画

像データを内部バス52を介して受け取り、用紙上に画像を形成する。51はローカルネットワークで、外部装置との通信を行う。

【0024】

52は内部バスで、プリンタユニット4、通信ユニット53、CPU6、RAM7、ROM8、ハードディスク9、プリンタユニット10に接続される、それぞれのモジュール間の通信経路として機能する。

【0025】

上記のように構成されたプリンタ4において、電源が投入されてプリンタ4が起動されると、ROM8に記憶されている制御プログラムがRAM7にロードされて実行される。ROM8に記憶された制御プログラムはCPU6によって解釈されて実行される。

【0026】

この制御プログラムはプリンタ4全体を制御するプログラムであり、通信ユニット53を介して受信した印刷ジョブを内部バス52を介してハードディスク9に転送し、ハードディスク9に一時的に記憶し、CPU6はその印刷ジョブのデータをハードディスク9から内部バス52を介して読出して前記プログラムによって印刷ジョブのデータを解釈し、画像データをRAM7に記憶する。

【0027】

このようにして、画像データがRAM7に生成された後、RAM7の画像データは内部バス52を介してプリンタユニット10に転送され、プリンタユニット10において用紙上に画像が形成される。

【0028】

ここで、印刷ジョブの受信はさまざまな印刷サービスを用いることが可能であり、例えばlpd、IPP、Port9100などの一般的に利用されている印刷サービス以外に、PrintMe印刷サービスを用いて印刷することも可能である。

【0029】

また、印刷ジョブに付加されたグループ名に対応して各グループの印刷許可／不許可を設定することが出来る。ここでは予めプリンタ4は、“admin”と

” p m” の 2 つ の グループは印刷許可、 ” u s e r ” グループは印刷不許可に設定されているものとする。

【0030】

そして、 プリンタ 4 には PrintMe 印刷サービスを用いてプリンタ 4 に送信された印刷ジョブに付加するグループ名を設定可能である。ここでは” p m” というグループ名が設定されているものとする。

【0031】

図 3 は、 本発明に係る画像出力装置における第 1 のデータ処理手順の一例を示すフローチャートであり、 例えば図 1 に示したプリンタ 4 の印刷管理制御手順に対応する。なお、 (100) ～ (106) は各ステップを示す。

【0032】

まず、 ステップ (100) で、 プリンタ 4 が起動するとプログラムが開始し、 ステップ (101) で、 ローカルネットワーク 51 を介して通信ユニット 53 が印刷ジョブを受信するまで待機し、 ステップ (101) で、 印刷ジョブを受信したら内部バス 52 を介してハードディスク 9 に印刷ジョブを記憶する。

【0033】

この際、 どの印刷サービスを用いて印刷ジョブが転送されたかという印刷サービス情報と、 もしグループ名の情報が印刷ジョブに含まれていればそのグループ名の情報も印刷ジョブと共に記憶する。

【0034】

なお、 本実施形態では、 印刷サービスは lpd と PrintMe のいずれかとする。

【0035】

そして、 ステップ (102) で、 ハードディスク 9 に記憶された印刷サービス情報をハードディスク 9 から読み出し、 印刷サービス情報が PrintMe 印刷サービス（特定印刷サービス）であるか否かを判断して、 特定印刷サービスであると判断した場合には、 例えば、 印刷サービス情報が PrintMe 印刷サービスである場合には、 ステップ (103) で、 あらかじめ設定されていた PrintMe 印刷サービス用のグループ名である” p m” をグループ名として設定し、

ステップ（104）へ進む。

【0036】

一方、ステップ（102）で、特定印刷サービスでないと判断した場合は、ステップ（104）で、あらかじめ設定されていた印刷権限の設定に基づいて当該印刷ジョブに設定されているグループ名が印刷を許可されたグループ名かどうかを判定し、許可されたグループ名であると判断した場合は、ステップ（105）で、印刷を実行して、具体的には、CPU6にて実行されるプログラムによってハードディスク9に記憶された印刷ジョブのデータが内部バス52を介して読み出され、解釈されて画像データが生成され、RAM7に画像データが記憶される。記憶された画像データは内部バス52を介してプリンタユニット10に転送され、用紙上に画像が形成されて、ステップ（101）へ戻る。

【0037】

一方、ステップ（104）で、許可されたグループ名でないと判断した場合は、ステップ（106）で、印刷を拒否し、ハードディスク9に記憶された印刷ジョブを消去した後、ステップ（101）へ戻る。

【0038】

これにより、本実施形態では、ステップ（104）で、”admin”及び”pm”の2つのグループ名である場合には、ステップ（105）で、印刷が許可され、”user”のグループ名である場合には、ステップ（106）で、印刷が拒否される。以上が印刷管理制御手順の流れである。

【0039】

以下、上記処理の流れに沿って、図1に示したネットワーク印刷システムにおけるクライアントPC5からlpdを用い、グループ名”admin”で印刷した場合と、グループ名”user”で印刷した場合について説明する。

【0040】

いずれの場合も、図3に示したステップ（101）において、印刷ジョブとその印刷ジョブに含まれるグループ名情報がハードディスク9に記憶され、ステップ（102）において、ハードディスク9から読み出され、印刷サービスがlpdであるため、ステップ（104）が実行される。

【0041】

そして、ステップ（104）において、グループ名が” a d m i n ”である場合には、印刷が許可されていると判定され、ステップ（105）において印刷が実行される。

【0042】

一方、グループ名が” u s e r ”である場合には印刷が許可されていないと判定されるため、ステップ（106）において印刷は実行されず、ハードディスク9に記憶された印刷ジョブは消去される。

【0043】

次に、PrintMe印刷サービスを用いて印刷を行う場合の流れについて説明する。

【0044】

PrintMe印刷サービスの利用者は、PrintMeクライアント2からプリンタ4に割り当てられたid番号を指定して印刷ジョブをPrintMeサーバ1に送信すると、該送信された印刷ジョブはインターネット50を介してPrintMeサーバ1に転送される。

【0045】

そして、PrintMeサーバ1では、PrintMeクライアント2から送信された印刷ジョブを記憶し、当該id番号のプリンタからの問合せを待つ。

【0046】

プリンタ4は、ローカルネットワーク51、ルータ3、インターネット50を介してPrintMeサーバ1に対してプリンタ4宛の印刷ジョブがあるかどうかを定期的に問合せる。

【0047】

PrintMeサーバ1に対して、プリンタ4に割り当てられたid番号宛の印刷ジョブがあった場合には、当該印刷ジョブはPrintMeサーバ1からインターネット50、ルータ3、ローカルネットワーク51を介してプリンタ4に送信される。

【0048】

そして、送信された印刷ジョブは通信ユニット53を介してプリンタ4で受信され、ステップ（101）において、印刷ジョブがハードディスク9に記憶され、ステップ（102）において、ハードディスク9から読み出され、印刷サービスがPrintMe印刷サービスであるため、ステップ（103）が実行される。

【0049】

具体的には、ステップ（103）において、PrintMe印刷サービス用のグループ名である”pm”がグループ名として設定され、ステップ（104）が実行される。

【0050】

そして、ステップ（104）においては、グループ名”pm”的印刷ジョブの印刷が許可されていると判定され、ステップ（105）が実行され、印刷される。

【0051】

一方、もしグループ名”pm”的印刷が許可されていない場合には、ステップ（104）において、印刷が許可されていないと判定され、ステップ（106）において、印刷は実行されず、ハードディスク9に記憶された印刷ジョブは消去される。なお、特定のサービスとして、固有のPrintMeであることとしたが、サービス名を特定せず、特定のポートを共有して利用する複数のサービスを、同じ特定サービスとして認識するようにすることも考えられる。

【0052】

以上説明したように、本実施形態によれば、lpdなどの一般的な印刷サービスを用いて印刷される印刷ジョブは印刷ジョブに付加されるグループ名に応じて印刷の許可／不許可が指定出来るのに加え、PrintMeなどのグループ名を付加することが出来ない印刷サービスを用いて印刷される印刷ジョブであっても、その印刷サービスに対応したグループ名を設定することが可能であり、そのグループ名での印刷の許可／不許可の設定に応じてその印刷サービスを用いた印刷を制限するような印刷管理を行える印刷処理環境を自在に構築することことが可能である。

【0053】

〔第2実施形態〕

上記第1実施形態では、図3に示したステップ（103）で、グループ情報が設定され、該設定されたグループ情報が印刷権限を備える場合には、プリンタ4の全ての印刷機能を実行できる場合について説明したが、プリンタ4の機能をグループに設定された印刷管理制御テーブルを参照して、個別的に印刷制限をかけるように制御してもよい。以下、その実施形態について説明する。

【0054】

なお、本実施形態における画像処理装置は、第1実施形態に示した構成と同様とする。

【0055】

図4は、図2に示したRAM7上で管理される印刷管理制御テーブルの一例を示す図である。

【0056】

図4に示すように、本実施形態では、印刷管理制御テーブルには、PORT9100印刷サービス用のグループ名として”port9100”、passcodeとして3210が設定され、PrintMe印刷サービス用のグループ名として”pm”、passcodeとして9871が設定されているものとする。

【0057】

また、本実施形態において、プリンタ4は印刷サービスとしてlpd、PORT9100及びPrintMeの3つの印刷サービスに対応したプリンタであり、クライアントPC5はlpd及びPORT9100の印刷サービスを用いてプリンタ4に対して印刷ジョブを送信出来るものとする。

【0058】

さらに、プリンタ4内部には図4に示す印刷管理制御テーブルは、例えばRAM7上に保持するものとし、プリンタ4で動作する印刷管理制御プログラム（後述する図5に示す制御手順に従う）に従い、複数のグループ名とそれに対応するpasscode、そしてそのグループ名でカラー印刷が可能かどうか、白黒印刷が可能かどうか、カラー印刷枚数、白黒印刷枚数、カラー印刷枚数制限、白黒

印刷枚数制限を図4に示す印刷管理制御テーブル上の設定に従い制御する。

【0059】

図4において、例えば”カラー”の項目が「○」の場合には、そのグループ名でのカラーでの印刷が許可され、「×」の場合にはカラーでの印刷が許可されていないことを示している。

【0060】

同様に”白黒”の項が「○」の場合には白黒での印刷が許可され、「×」の場合には許可されていないことを示す。

【0061】

また、”カラー印刷制限”の項目はそのグループ名でカラーで印刷可能な印刷枚数制限を示し、”白黒印刷制限”の項はそのグループ名で白黒での印刷が可能な印刷枚数制限を示している。

【0062】

そして”カラー印刷枚数”の項目はそのグループ名で印刷されたカラー印刷の積算枚数を、”白黒印刷枚数”はそのグループ名で印刷された白黒印刷の積算枚数を示している。

【0063】

次に、本実施形態におけるクライアントPC5の構成について説明する。

【0064】

図1に示したクライアントPC5ではlpd及びPORT9100を用いてプリンタ4に印刷ジョブを送信することが出来、lpdで送信する場合にはプリンタドライバでの設定によりグループ名とpasscodeを附加して印刷ジョブを送信し、PORT9100で送信する場合にはグループ名もpasscodeも附加しないものとする。

【0065】

図5は、本発明に係る画像出力装置における第2のデータ処理手順の一例を示すフローチャートであり、例えば図1に示したプリンタ4の印刷管理制御手順に対応する。なお、(120)～(132)は各ステップを示す。

【0066】

まず、ステップ（120）で、プリンタ4が起動するプログラムが開始されると、ステップ（121）で、ローカルネットワーク51を介して通信ユニット53が印刷ジョブを受信するまで待機し、印刷ジョブを受信したら内部バス52を介してハードディスク9に印刷ジョブを記憶する。

【0067】

この際、どの印刷サービスを用いて印刷ジョブが転送されたかという印刷サービス情報と、もしグループ名とpasscodeの情報が印刷ジョブに含まれていればそのグループ名とpasscodeの情報も印刷ジョブと共に記憶する。印刷サービスはlpd、PORT9100及びPrintMeのいずれかである。

【0068】

次に、ステップ（122）において、ハードディスク9に記憶された印刷サービス情報をハードディスク9から読み出し、PORT9100印刷サービスまたはPrintMe印刷サービス等の特定印刷サービスであるかどうかを判断して、特定印刷サービスであると判断した場合は、ステップ（123）で、印刷サービス情報がPrintMe印刷サービスである場合にはグループ名として”pm”、passcodeとして「9871」を、印刷サービス情報がPORT9100印刷サービスである場合にはグループ名として”port9100”を、passcodeとして「3210」を設定し、ステップ（124）へ進む。

【0069】

一方、ステップ（122）で、特定印刷サービスでないと判断した場合は、ステップ（124）で、設定されたグループ名とpasscodeの組み合わが、図4に示したテーブル中におけるグループ名とpasscodeとの組み合わせのいずれかと合致するかどうかをCPU8が判定して、合致すると判定した場合は、ステップ（125）へ進む。

【0070】

そして、ステップ（125）で、ハードディスク9に記憶された印刷ジョブを読み出し、その印刷ジョブがカラーで印刷すべきか、白黒で印刷すべきかを判定する。なお、当該判定は、例えば印刷ジョブのデータを解釈して黒トナーのみで

画像形成が可能であるかどうかをC P U 6 が判定することにより実現される。

【0071】

そして、ステップ（125）で、カラーで印刷すべきジョブでないと判定した場合には、ステップ（126）へ進み、当該印刷ジョブに設定されたグループ名のグループに対して白黒での印刷が許可されているかを図4に示した印刷管理制御テーブルを用いてC P U 6 が判定し、許可されていると判定した場合には、ステップ（128）に進み、許可されていないと判定した場合には、ステップ（131）へ進む。

【0072】

一方、ステップ（125）で、カラーで印刷すべきジョブであると判定した場合には、ステップ（127）へ進み、当該印刷ジョブに設定されたグループ名のグループに対してカラーでの印刷が許可されているかを図4に示した印刷管理制御テーブルを用いてC P U 6 が判定して、許可されていると判定した場合にはステップ（129）へ進み、許可されていないと判定した場合には、ステップ（131）へ進む。

【0073】

そして、ステップ（128）で、当該印刷ジョブに設定されたグループ名のグループに設定された白黒の印刷枚数制限を超過しているかどうかを図4に示した印刷管理制御テーブルを用いてC P U 6 が判定して、超過していると判定した場合には、ステップ（131）へ進み、超過していないと判定した場合には、ステップ（130）へ進む。

【0074】

そして、ステップ（129）では、当該印刷ジョブに設定されたグループ名のグループに設定されたカラーの印刷枚数制限を超過しているかどうかを図4に示した印刷管理制御テーブルを用いてC P U 6 が判定して、超過していると判定した場合には、ステップ（131）へ進み、超過していないと判定した場合にはステップ（130）へ進む。

【0075】

そして、ステップ（130）では、ハードディスク9から印刷ジョブを読み出

し、印刷データを解釈してRAM7に画像データを生成する。そして、該生成された画像データは内部バス52を介してプリンタユニット10に転送され、用紙上に画像が形成される。

【0076】

そして、印刷が完了した後、ステップ(132)で、図4に示した印刷管理制御テーブルに対応するグループの印刷枚数を更新する。具体的には、カラーで印刷した場合には当該印刷ジョブの印刷枚数を、当該ジョブに設定されたグループ名のグループのカラー印刷枚数に加算し、白黒で印刷した場合には白黒印刷枚数に加算した後、ステップ(121)へ戻る。

【0077】

一方、ステップ(124)で、コード不一致と判定された場合、ステップ(126)で、白黒印刷権限がないと判定された場合、およびステップ(127)で、カラー印刷権限がないと判定された場合、さらに、ステップ(129)で、カラー枚数制限が超過していると判定した場合には、ステップ(131)で、当該印刷ジョブの処理を拒否して、印刷を実行せず、ハードディスク9に記憶された印刷ジョブを消去した後、ステップ(121)へ戻る。以上が第2の印刷管理制御手順の流れである。

【0078】

以下、上記第2の印刷管理制御手順に沿っていくつかの条件(図4に示した印刷管理制御テーブルに登録された内容に基づく)での実際の印刷ジョブ処理状態例について説明する。

【0079】

まず、クライアントPC5からlpdを用いて印刷する場合には、グループ名が”guest”、passcodeが例えば「1111」の場合には、ステップ(124)において、図4に示した印刷管理制御テーブルに保持されているグループ名のいずれとも合致しないので印刷はされない。

【0080】

また、同様に、グループ名が”soumu”でpasscodeが、例えば「1111」の場合にはステップ(124)において、図4に示した印刷管理制御

テーブルに保持されているグループ名とは合致するものの `passcode` が合致しないため印刷はされない。

【0081】

さらに、グループ名が”`soumu`”で `passcode` が、例えば「1231」、印刷ジョブが白黒の場合には、ステップ（124）において、図4に示した印刷管理制御テーブルに保持されているグループ名、`passcode` の組み合わせと合致し、ステップ（125）において白黒ジョブと判定され、ステップ（126）においてはグループ名”`soumu`”の場合には白黒での印刷権限が与えられていると判定され、ステップ（128）ではグループ名”`soumu`”の白黒印刷枚数が311枚で白黒印刷枚数制限の上限、例えば1000枚には達していないため制限を超過していないと判定されるため、当該印刷ジョブはステップ（130）において印刷される。

【0082】

一方、グループ名が”`soumu`”で `passcode` が「1231」、印刷ジョブがカラーの場合には、ステップ（124）において印刷管理制御テーブルに保持されているグループ名、`passcode` の組み合わせと合致し、ステップ（125）において、カラージョブと判定され、ステップ（126）においてはグループ名”`soumu`”の場合には、カラーでの印刷権限が与えられていると判定され、ステップ128ではグループ名”`soumu`”のカラー印刷枚数が100枚で、現在、カラー印刷枚数制限として設定された100枚に達しているため、CPU6はステップ（129）で、制限を超過していると判定して、当該カラー印刷要求している印刷ジョブは、ステップ（131）で、拒否される。

【0083】

また、グループ名が”`keiri`”で `passcode` が「9999」、印刷ジョブがカラーの場合には、ステップ（124）において、図4に示した印刷管理制御テーブルに保持されているグループ名、`passcode` の組み合わせと合致し、ステップ（125）においてカラージョブと判定され、ステップ（126）においては、グループ名”`keiri`”の場合にはカラーでの印刷権限が与えられていないと判定され、当該印刷ジョブの印刷は拒否される。

【0084】

次にクライアントPC5からPORT9100を用いてカラージョブの印刷を行う場合について説明する。

【0085】

クライアントPC5から送信された印刷ジョブは、通信ユニット53を介して受信され、ステップ（121）において、印刷ジョブがハードディスク9に記憶され、ステップ（122）において、ハードディスク9から読み出され、印刷サービスがPORT9100印刷サービスであるため、ステップ（123）が実行される。

【0086】

そして、ステップ（123）においては、PORT9100印刷サービス用のグループ名である”port9100”がグループ名として設定され、それに対応したpasscodeとして「3210」が設定される。

【0087】

次に、ステップ（124）において、ステップ（123）で、設定されたグループ名とpasscodeとの組み合わせが図4に示した印刷管理制御テーブルと合致するとCPU6により判定され、ステップ（125）において、カラージョブと判定される。そして、ステップ（127）において、カラー印刷権限がないと判定され、グループ名である”port9100”に対する印刷ジョブの印刷は実行されない。

【0088】

また、当該グループ名である”port9100”に対する印刷ジョブが白黒ジョブである場合には、ステップ（125）において、白黒ジョブと判定され、ステップ（126）において、白黒印刷権限があると判定され、ステップ（128）において、印刷管理制御テーブルのグループ”port9100”での白黒印刷枚数が、白黒印刷枚数制限（枚数「1000」）を超過していないと判定され、印刷が実行される。

【0089】

次にPrintMe印刷サービスを用いて印刷ジョブが送信された場合につい

て説明する。ここでは、印刷ジョブはカラーで印刷すべき印刷ジョブであるものとする。

【0090】

PrintMe印刷サービスの利用者はPrintMeクライアント2からプリンタ4に割り当てられたid番号を指定して印刷ジョブをPrintMeサーバ1に送信すると、該送信された印刷ジョブはインターネット50を介してPrintMeサーバ1に転送される。

【0091】

PrintMeサーバ1ではPrintMeクライアント2から送信された印刷ジョブを記憶し、当該id番号のプリンタからの問合せを待つ。

【0092】

ここで、プリンタ4はローカルネットワーク51、ルータ3、インターネット50を介してPrintMeサーバ1に対してプリンタ4宛の印刷ジョブがあるかどうかを定期的に問合せる。

【0093】

そして、PrintMeサーバ1にプリンタ4に割り当てられたid番号宛の印刷ジョブがあったと判定した場合には、当該印刷ジョブはPrintMeサーバ1からインターネット50、ルータ3、ローカルネットワーク51を介してプリンタ4に送信される。

【0094】

そして、当該印刷ジョブは通信ユニット53を介して受信され、ステップ(121)において、印刷ジョブと、印刷サービス情報としてPrintMeで受信した旨がハードディスク9に記憶され、ステップ(122)において、ハードディスク9から読み出され、印刷サービスがPrintMe印刷サービスであるためステップ(123)が実行される。

【0095】

そして、ステップ(123)においては、PrintMe印刷サービス用のグループ名である”pm”がグループ名として設定され、それに対応したpasscodeとして、例えば「9871」が設定される。

【0096】

次に、ステップ（124）においては、ステップ（123）で設定されたグループ名と `passcode`との組み合が、図4に示した印刷管理制御テーブルと合致するとCPU6により判定され、ステップ（125）において、カラージョブと判定される。そして、ステップ（127）においてカラー印刷権限があると判定され、ステップ（129）において、図4に示した印刷管理制御テーブルのグループ”`pm`”でのカラー印刷枚数がカラー印刷枚数制限（「100」）を超過していないと判定され、印刷が実行される。

【0097】

なお、ここでは、グループ情報の好適な一例として、”`pm`”を用いた。これにより、PrintMeサービス利用者も印刷管理の対象となり、印刷が可能となる。さらに、単に”`pm`”を用いるだけでなく、例えば、`pm-guest`、`pm-ユーザA`、`pm-ユーザA`という複数のグループ名やアカウント名を用いて、特定の印刷サービスの未登録のゲストユーザと、特定のサービスに既登録のユーザを識別可能に管理できるようにしてもよい。この場合は、グループ名の一部に、`pm`というサービスを示す文字列が含まれているか否かを判断し、`pm`が含まれている場合は特定サービス利用者のグループであると判断することになる。そして、`pm`以下に含まれる文字列を予め記憶しておいた文字列を用いることにより解析する。解析後、特定サービス利用者と判断された利用者の特定サービスの利用を許可すると共に、特定サービスのゲストユーザと、特定サービスの既登録ユーザを分類して集計等するようにしてもよい。また、本実施形態では、グループ情報の一例としてグループ名`pm`としたが、特定サービスに利用者として登録されたユーザ、つまり、グループ名を利用するユーザは一名であってもよいことはいうまでもない。

【0098】

なお、印刷ジョブが白黒の場合には、図5のステップ（125）において。白黒ジョブと判定され、ステップ（126）で白黒での印刷権限がないと判定されるため印刷されない。

【0099】

以上説明したように本実施形態によれば、複数のグループ名と p a s s c o d e の組み合わせを保持し、各グループ名でのカラー印刷の許可、白黒印刷の許可、カラー印刷枚数制限、白黒印刷枚数制限を行うことが可能であるのに加え、特定の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブに対してあらかじめ設定されたグループ名及び p a s s c o d e を設定することにより、既存の印刷管理制御機構を利用して特定の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブに対してもカラー印刷の許可、白黒印刷の許可、カラー印刷枚数制限、白黒印刷枚数制限などの印刷制限をすることが可能である。

【0100】

以下、図6に示すメモリマップを参照して本発明に係る画像処理装置で読み出し可能な各種データ処理プログラムを格納する記憶媒体のメモリマップについて説明する。

【0101】

図6は、本発明に係る画像処理装置で読み出し可能な各種データ処理プログラムを格納する記憶媒体のメモリマップを説明する図である。

【0102】

なお、特に図示しないが、記憶媒体に記憶されるプログラム群を管理する情報、例えばバージョン情報、作成者等も記憶され、かつ、プログラム読み出し側のOS等に依存する情報、例えばプログラムを識別表示するアイコン等も記憶される場合もある。

【0103】

さらに、各種プログラムに従属するデータも上記ディレクトリに管理されている。また、各種プログラムをコンピュータにインストールするためのプログラムや、インストールするプログラムが圧縮されている場合に、解凍するプログラム等も記憶される場合もある。

【0104】

本実施形態における図3、図5に示す機能が外部からインストールされるプログラムによって、ホストコンピュータにより遂行されていてもよい。そして、その場合、CD-ROMやフラッシュメモリやFD等の記憶媒体により、あるいは

ネットワークを介して外部の記憶媒体から、プログラムを含む情報群を出力装置に供給される場合でも本発明は適用されるものである。

【0105】

以上のように、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはC P UやM P U）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し実行することによっても、本発明の目的が達成されるることは言うまでもない。

【0106】

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が本発明の新規な機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。

【0107】

プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、例えば、フレキシブルディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、C D-R O M、C D-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード、R O M、E E P R O M等を用いることができる。

【0108】

また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているO S（オペレーティングシステム）等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0109】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるC P U等が実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは

言うまでもない。

【0110】

本発明は上記実施形態に限定されるものではなく、本発明の趣旨に基づき種々の変形（各実施形態の有機的な組合せを含む）が可能であり、それらを本発明の範囲から排除するものではない。

【0111】

本発明の様々な例と実施形態を示して説明したが、当業者であれば、本発明の趣旨と範囲は、本明細書内の特定の説明に限定されるのではなく、以下の実施態様も含まれることはいうまでもない。以下、その実施態様1～24について説明する。

【0112】

〔実施態様1〕

データ処理装置から所定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブを受信し、該受信した印刷ジョブを処理する画像処理装置であって、前記所定の印刷サービス要求毎に設定されたグループ情報を記憶する記憶手段（例えば図2に示すRAM7）と、受信される特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブが前記記憶手段に記憶されたグループ情報に対応しているか否かを判別する判別手段（例えば図2に示すCPU6が実行する図3に示すステップ（102））と、前記判別手段により未対応であると判別した場合に、該未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報を設定する設定手段（例えば図2に示すCPU6が実行する図3に示すステップ（103））と、前記グループ情報あるいは前記特定グループ情報に基づいて、所定の印刷サービス要求あるいは特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブの実行の可否を制御するジョブ制御手段（例えば図2に示すCPU6が実行する図3に示すステップ（104）～（106））とを有することを特徴とする画像処理装置。

【0113】

〔実施態様2〕

前記特定の印刷サービス要求は、PrintMe印刷サービスであることを特徴とする実施態様1記載の画像処理装置。

【0114】**〔実施態様3〕**

前記設定手段は、未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報とパスコードを設定することを特徴とする実施態様1記載の画像処理装置。

【0115】**〔実施態様4〕**

前記ジョブ制御手段は、所定の印刷サービス要求あるいは特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブの実行の可否をジョブ管理テーブルに基づき制御することを特徴とする実施態様1記載の画像処理装置。

【0116】**〔実施態様5〕**

所定の印刷サービス要求毎に設定されたグループ情報を記憶する記憶手段（例えば図2に示すRAM7）を備え、データ処理装置から所定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブを受信し、該受信した印刷ジョブを処理する画像処理装置における画像処理方法であって、受信される特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブが前記記憶手段に記憶されたグループ情報に対応しているか否かを判別する判別ステップ（例えば図2に示すCPU6が実行する図3に示すステップ（102））と、前記判別ステップにより未対応であると判別した場合に、該未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報を設定する設定ステップ（例えば図2に示すCPU6が実行する図3に示すステップ（103））と、前記グループ情報あるいは前記特定グループ情報に基づいて、所定の印刷サービス要求あるいは特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブの実行の可否を制御するジョブ制御ステップ（例えば図2に示すCPU6が実行するステップ（104）～（106））とを有することを特徴とする画像処理方法。

【0117】**〔実施態様6〕**

前記特定の印刷サービス要求は、PrintMe印刷サービスであることを特徴とする実施態様5記載の画像処理方法。

【0118】**〔実施態様7〕**

前記設定ステップは、未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報とパスコードを設定することを特徴とする実施態様5記載の画像処理方法。

【0119】**〔実施態様8〕**

前記ジョブ制御ステップは、所定の印刷サービス要求あるいは特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブの実行の可否をジョブ管理テーブルに基づき制御することを特徴とする実施態様5記載の画像処理方法。

【0120】**〔実施態様9〕**

実施態様5～8のいずれかに記載の画像処理方法を実現するプログラムを記憶したことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。

【0121】**〔実施態様10〕**

実施態様5～8のいずれかに記載の画像処理方法を実現することを特徴とするプログラム。

【0122】**〔実施態様11〕**

他の装置から送信された、ユーザあるいはグループの情報を含む印刷用データを受信し、前記ユーザあるいはグループの情報をもとにユーザ毎あるいはグループ毎に印刷管理を行う画像処理装置であって、前記画像形成装置は受信した印刷データにユーザもしくはグループを特定する情報が含まれていない場合には当該印刷データを受信した印刷サービス用にあらかじめ指定されたユーザもしくはグループの印刷として印刷管理を行うことを特徴とする画像処理装置。

【0123】**〔実施態様12〕**

前記印刷サービス用にあらかじめ指定されたユーザもしくはグループは変更可

能であることを特徴とする実施態様11記載の画像処理装置。

【0124】

〔実施態様13〕

前記画像処理装置は、特定のユーザもしくはグループの印刷を拒否する設定が可能であることを特徴とする実施態様11記載の画像処理装置。

【0125】

〔実施態様14〕

前記画像処理装置は、特定のユーザもしくはグループの印刷を印刷データの条件に応じて拒否する設定が可能であることを特徴とする実施態様11記載の画像処理装置。

【0126】

〔実施態様15〕

前記画像処理装置はユーザもしくはグループ単位での印刷枚数管理を行うことが出来ることを特徴とする実施態様11記載の画像処理装置。

【0127】

〔実施態様16〕

前記画像処理装置はユーザもしくはグループ単位で、かつ印刷データの条件に応じて印刷枚数管理を行うことが出来ることを特徴とする実施態様11記載の画像処理装置。

【0128】

〔実施態様17〕

少なくとも一組のグループ識別情報とそれに対応した暗証情報の組み合わせとを記憶する記憶手段を具備し、他の装置から送信された印刷データを少なくとも一つの印刷サービスを介して受信し、前記印刷データにグループ識別情報及び暗証情報が含まれ、かつ当該グループ識別情報及び暗証情報が前記記憶手段に記憶されたグループ識別情報及びそれに対応した暗証情報の組み合わせのいずれかと一致する場合には印刷を許可する画像形成装置であって、前記画像形成装置は前記印刷サービス毎にグループ識別情報及び暗証情報の標準値を設定可能であり、前記画像形成装置は前記印刷サービスのいずれかを介して受信した印刷データに

グループ識別情報及び暗証情報が含まれていない場合には当該印刷サービス用の前記グループ識別情報及び暗証情報の標準値を当該印刷データのグループ識別情報及び暗証情報として印刷処理を行うことを特徴とする画像処理装置。

【0129】

〔実施態様18〕

前記印刷サービス毎のグループ識別情報及び暗証情報の標準値は変更可能であることを特徴とする実施態様17記載の画像処理装置。

【0130】

〔実施態様19〕

前記画像処理装置は、特定のグループの印刷を拒否する設定が可能であることを特徴とする実施態様17記載の画像処理装置。

【0131】

〔実施態様20〕

前記画像処理装置は、特定のグループの印刷を印刷データの条件に応じて拒否することが出来ることを特徴とする実施態様17記載の画像処理装置。

【0132】

〔実施態様21〕

前記画像処理装置は、グループ単位での印刷枚数管理を行うことが出来ることを特徴とする実施態様17記載の画像処理装置。

【0133】

〔実施態様22〕

前記画像処理装置は、グループ単位で、かつ印刷データの条件に応じて印刷枚数管理を行うことが出来ることを特徴とする実施態様17記載の画像処理装置。

【0134】

〔実施態様23〕

前記特定のサービスとは、特定のポートを利用するサービスであることを特徴とする実施態様1記載の画像処理装置。

【0135】

〔実施態様24〕

少なくとも一組のグループ識別情報とそれに対応した暗証情報の組み合わせとを記憶する記憶手段を具備し、他の装置から送信された印刷データを少なくとも一つの印刷サービスを介して受信して印刷する画像形成装置であって、前記印刷データにグループ識別情報及び暗証情報が含まれ、かつ当該グループ識別情報及び暗証情報が前記記憶手段に記憶されたグループ識別情報及びそれに対応した暗証情報の組み合わせのいずれかと一致する場合には印刷を許可する印刷管理機能を有し、前記印刷サービス毎に前記印刷データにグループ識別情報及び暗証情報が含まれていない場合の処理を第一の処理モード、第二の処理モード及び第三の処理モードのいずれかからグループ情報に基づきどの処理を行うかを判断して選択して実行させることが可能であり、前記第一の処理モードは当該印刷サービスでの印刷を拒否するモードであり（ジョブに設定されるグループ名が user である場合である）、前記第二の処理モードは特定のグループ識別情報及び暗証情報を設定せずに印刷を実行するモード（ジョブにグループ名 admin を設定する場合である）であり、前記第三の処理モードは特定のグループ識別情報及び暗証情報を設定して印刷を実行するモード（グループ名が pm で password を設定するモード）であることを特徴とする画像処理装置（図3に示すステップ 104～106）。

【0136】

上記各実施形態または各実施態様によれば、他の装置から送信された、ユーザあるいはグループの情報を含む印刷用データを受信し、前記ユーザあるいはグループの情報をもとにユーザ毎あるいはグループ毎に印刷管理を行う画像形成装置であって、前記画像形成装置は、受信した印刷データにユーザもしくはグループを特定する情報が含まれていない場合には当該印刷データを受信した印刷サービス用にあらかじめ指定されたユーザもしくはグループの印刷として印刷管理を行うので、もし受信した印刷データにユーザ名またはグループ名が含まれない場合にはその印刷ジョブを受信した印刷サービス用にあらかじめ指定されたユーザ名もしくはグループ名を設定して印刷を実行し、その印刷サービスを介して印刷されたジョブは他のジョブと区別して管理することが可能である。

【0137】

例えばElectronics For Imaging社が運用しているPrintMeというサービスを利用すると不特定のユーザがインターネットを介してプリンタに印刷をすることが出来るが、ユーザ名またはグループ名で印刷を制限している場合にはユーザ名またはグループ名を設定する手段がないため印刷を行うことが出来無い。

【0138】

しかし本発明によればPrintMeを介して印刷ジョブが送られてきた場合にはユーザ名またはグループ名が設定されていなくてもあらかじめ設定されたユーザ名またはグループ名によって印刷を実行することが出来る。

【0139】

また、実施態様12によれば前記印刷サービス用にあらかじめ指定されたユーザもしくはグループは変更可能であることにより管理の都合上前記印刷サービス用のユーザ名またはグループ名を変更する必要が生じた場合にも設定を変更することにより対応可能である。

【0140】

また、実施態様13によれば前記画像形成装置は特定のユーザもしくはグループの印刷を拒否する設定が可能であることにより特定のユーザもしくはグループの印刷を拒否することが可能であることに加え、前記印刷サービス用にあらかじめ設定されたユーザ名またはグループ名での印刷を拒否する設定にすれば特定の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブに対して印刷を拒否することが可能である。

【0141】

また、実施態様14によれば、前記画像形成装置は特定のユーザもしくはグループの印刷を印刷データの条件に応じて拒否する設定が可能であることにより、例えばカラープリンタにおいて、異なる二つの印刷サービスを介して印刷ジョブを受信可能である場合に、第一の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブはカラー及び白黒での印刷を許可し、第二の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブは白黒のみでの印刷を許可するなど、さまざまな印刷データの条件と印刷サービスの組み合わせに応じた画像形成装置の利用制限を設定することが可能である

。

【0142】

また、実施態様15によれば、前記画像形成装置はユーザもしくはグループ単位での印刷枚数管理を行うことが出来ることによりユーザ毎あるいはグループ毎に印刷可能な枚数を制限し、不要な印刷を抑制することが可能である。

【0143】

また、実施態様16によれば前記画像形成装置はユーザもしくはグループ単位で、かつ印刷データの条件に応じて印刷枚数管理を行うことが出来ることにより、例えばユーザ毎あるいはグループ毎にカラー印刷の枚数を制限し、コストが高いカラー印刷の枚数を抑制することが可能であると共に、特定の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブの枚数を制限することが可能である。

【0144】

また、実施態様17によれば、少なくとも一組のグループ識別情報とそれに対応した暗証情報の組み合わせとを記憶する記憶手段を具備し、他の装置から送信された印刷データを少なくとも一つの印刷サービスを介して受信し、前記印刷データにグループ識別情報及び暗証情報が含まれ、かつ当該グループ識別情報及び暗証情報が前記記憶手段に記憶されたグループ識別情報及びそれに対応した暗証情報の組み合わせのいずれかと一致する場合には印刷を許可する画像形成装置であって、前記画像形成装置は、前記印刷サービス毎にグループ識別情報及び暗証情報の標準値を設定可能であり、前記画像形成装置は、前記印刷サービスのいずれかを介して受信した印刷データにグループ識別情報及び暗証情報が含まれていない場合には当該印刷サービス用の前記グループ識別情報及び暗証情報の標準値を当該印刷データのグループ識別情報及び暗証情報として印刷処理を行うことによりユーザが自分が利用可能なグループのグループ識別情報とそのグループの暗証情報の両方を知らなければそのグループでの印刷をすることが出来ず、通常の印刷方法においては利用出来ないグループを不正に利用して印刷することを防止することが出来るのに加え、グループ識別情報や暗証情報を印刷データに含めることが困難な印刷サービスを利用する場合であってもあらかじめ設定された印刷サービス毎のグループ識別情報及び暗証情報を設定して印刷することが可能であ

る。

【0145】

また、実施態様18によれば、前記印刷サービス毎のグループ識別情報及び暗証情報の標準値は変更可能であることにより管理の都合上前記印刷サービス用のグループ識別情報または暗証情報を変更する必要が生じた場合にも設定を変更することにより対応可能である。

【0146】

また、実施態様19によれば、前記画像形成装置は特定のグループの印刷を拒否する設定が可能であることにより、特定のグループの印刷を拒否することが可能であることに加え、前記印刷サービス用に設定されたグループ識別情報に対応するグループの印刷を拒否する設定を行えば特定の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブに対して印刷を拒否することが可能である。

【0147】

また、実施態様20によれば、前記画像形成装置は特定のグループの印刷を印刷データの条件に応じて拒否することが出来ることにより、例えばカラープリンタにおいて、異なる二つの印刷サービスを介して印刷ジョブを受信可能である場合に、第一の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブはカラー及び白黒での印刷を許可し、第二の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブは白黒のみでの印刷を許可するなど、さまざまな印刷データの条件と印刷サービスの組み合わせに応じた画像形成装置の利用制限を設定することが可能である。

【0148】

また、実施態様21によれば、前記画像形成装置はグループ単位での印刷枚数管理を行うことが出来ることによりグループ毎に印刷可能な枚数を制限し、不要な印刷を抑制することが可能である。

【0149】

さらに、実施態様22によれば、前記画像形成装置はグループ単位で、かつ印刷データの条件に応じて印刷枚数管理を行うことが出来ることによりにより、例えばグループ毎にカラー印刷の枚数を制限し、コストが高いカラー印刷の枚数を抑制することが可能であると共に、特定の印刷サービスを介して受信した印刷ジ

ジョブの枚数を制限することが可能である。

【0150】

また、実施態様24によれば、少なくとも一組のグループ識別情報とそれに対応した暗証情報の組み合わせとを記憶する記憶手段を具備し、他の装置から送信された印刷データを少なくとも一つの印刷サービスを介して受信して印刷する画像形成装置であって、前記印刷データにグループ識別情報及び暗証情報が含まれ、かつ当該グループ識別情報及び暗証情報が前記記憶手段に記憶されたグループ識別情報及びそれに対応した暗証情報の組み合わせのいずれかと一致する場合には印刷を許可する印刷管理機能を有し、前記印刷サービス毎に前記印刷データにグループ識別情報及び暗証情報が含まれていない場合の処理を第一の処理モード、第二の処理モード及び第三の処理モードのいずれかから選択することが可能であり、前記第一の処理モードは当該印刷サービスでの印刷を拒否するモードであり、前記第二の処理モードは特定のグループ識別情報及び暗証情報を設定せずに印刷を実行するモードであり、前記第三の処理モードは特定のグループ識別情報及び暗証情報を設定して印刷を実行するモードであることにより、第一の処理モードの場合には特定の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブの印刷を拒否し、第二の処理モードの場合にはグループ毎の印刷管理をせずに印刷を行ない、第三の処理モードの場合にはグループ毎の印刷管理をして印刷をすると共に特定の印刷サービスを介して受信した印刷ジョブを特定のグループの印刷ジョブとして管理したり、印刷を拒否したりすることが可能である。

【0151】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、データ処理装置から所定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブを受信し、該受信した印刷ジョブを処理する画像処理装置において、受信される特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブが前記記憶手段に記憶されたグループ情報に未対応である場合に、該未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報を設定し、該特定グループ情報に基づいて、特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブ実行可能とするようにジョブ処理を制御するので、グループ情報が未対応の印刷ジョブを受信した場合で

も、特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブに特定のグループ情報を適応させて印刷処理を実行させてジョブ処理状態を管理することができる利便性に優れた印刷ジョブ処理環境を自在に構築することができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第1実施形態を示す画像形成装置を適用可能なネットワーク印刷システムの構成例を示す図である。

【図 2】

図1に示したプリンタのデータ処理構成を説明するブロック図である。

【図 3】

本発明に係る画像出力装置における第1のデータ処理手順の一例を示すフローチャートである。

【図 4】

図2に示したRAM上で管理される印刷管理制御テーブルの一例を示す図である。

【図 5】

本発明に係る画像出力装置における第2のデータ処理手順の一例を示すフローチャートである。

【図 6】

本発明に係る画像処理装置で読み出し可能な各種データ処理プログラムを格納する記憶媒体のメモリマップを説明する図である。

【符号の説明】

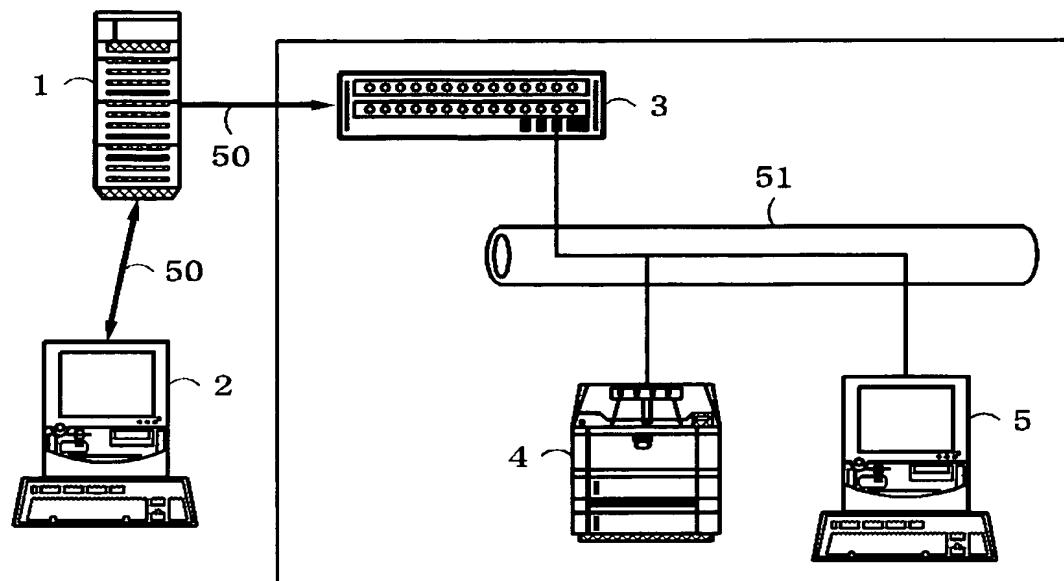
- 1 PrintMe サーバ
- 2 PrintMe クライアント
- 3 ルータ
- 4 プリンタ
- 5 クライアント PC
- 6 CPU
- 7 RAM

8 ROM

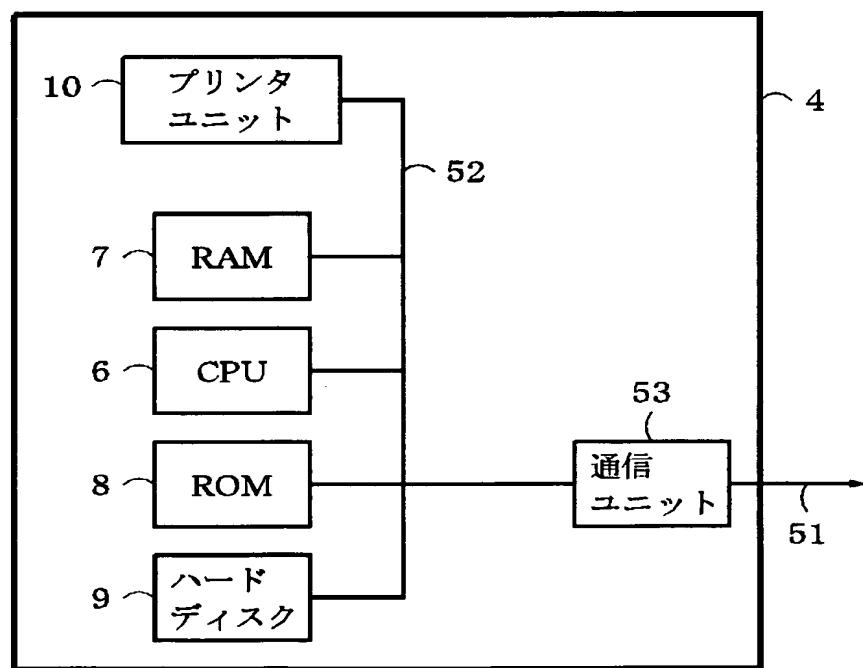
出証特2003-3110952

【書類名】 図面

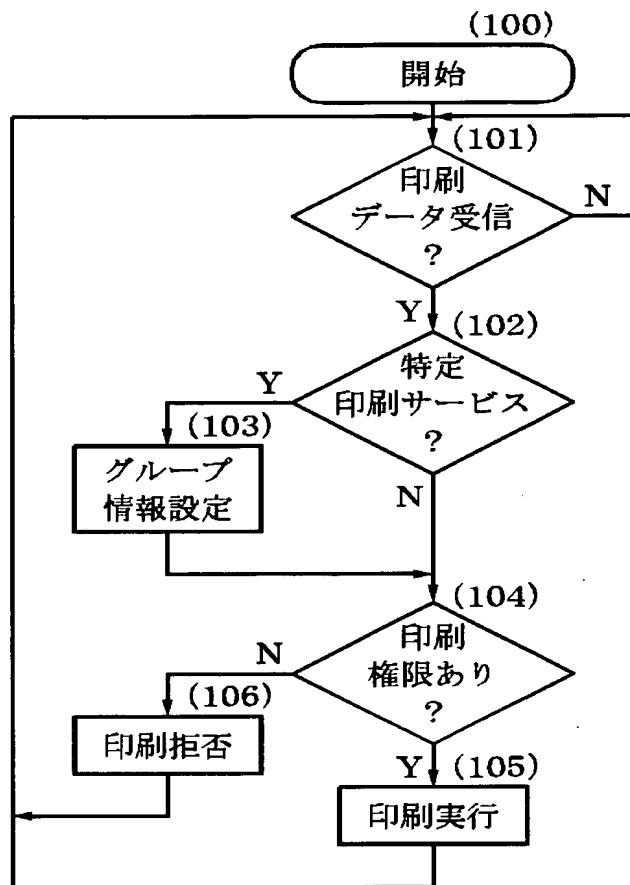
【図1】



【図2】



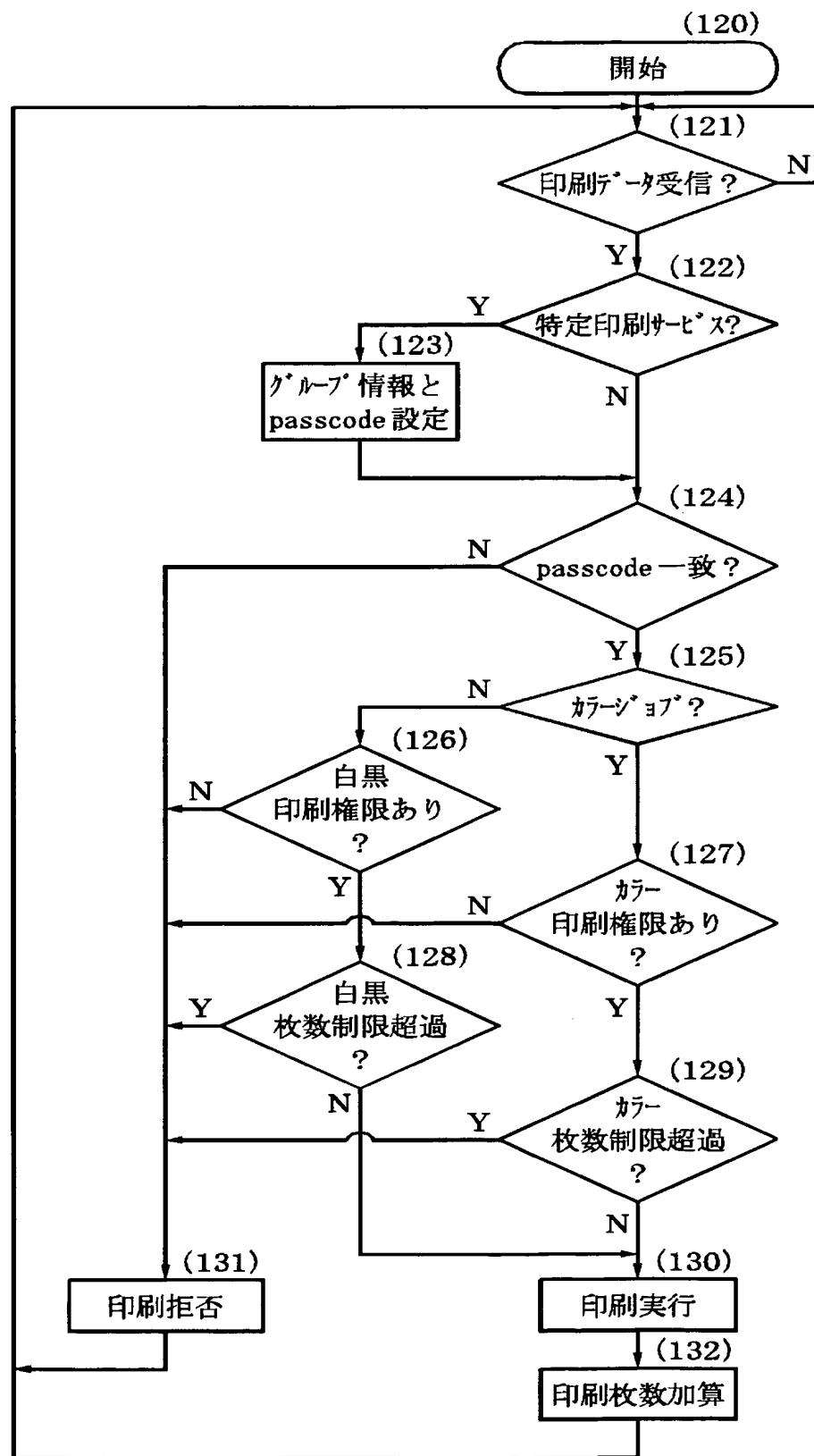
【図3】



【図4】

グループ	pass code	カラー	白黒	カラー印刷枚数	白黒印刷枚数	カラー印刷制限	白黒印刷制限
soumu	1231	○	○	100	311	100	10000
keiri	9999	×	○	0	401	0	1000
port9100	3210	×	○	0	15	0	1000
pm	9871	○	×	5	0	100	0

【図5】



【図6】

FD/CD-ROM等の記憶媒体	
ディレクトリ情報	
第1のデータ処理プログラム 図3に示すフローチャートのステップに対応する プログラムコード群	
第2のデータ処理プログラム 図5に示すフローチャートのステップに対応する プログラムコード群	

記憶媒体のメモリマップ

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブに特定のグループ情報を適応させて印刷処理を実行させてジョブ処理状態を管理することができる利便性に優れた印刷ジョブ処理環境を自在に構築することである。

【解決手段】 受信される特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブがRAM7に記憶されたグループ情報に未対応である場合に、CPU6が該未対応の印刷ジョブに対して印刷ジョブを実行可能とする特定グループ情報を設定し、該特定グループ情報に基づいて、特定の印刷サービス要求に従う印刷ジョブ実行可能とするようにジョブ処理を制御する構成を特徴とする。

【選択図】 図2

特願 2002-370428

出願人履歴情報

識別番号 [000001007]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
氏名 キヤノン株式会社